

「UDF で災害に備えるキャンペーン」 初開催

本年7月28日（火）に2026年熊本地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この夏は台風や豪雨なども頻繁でしたが、こうした災害に多頻度で遭遇するたびに、本当に日本は災害が多い国であることをあらためて実感いたします。

このような我が国の状況もあり、今年の3月に「いざという時のための準備が大事。UDFで災害に備えるキャンペーン」を本会公式LINE上で初開催いたしました。

これまで、キャンペーンは「7月11日 UDFの日」と「11月11日 介護の日」の年2回を実施しておりましたが、今般、UDF 啓発機会の増加を企図し、同キャンペーンを新たに加えることといたしました。3月を加えることとしたのは、もちろん3月11日発災の東日本大震災が契機です。意図したわけではありませんが、これらキャンペーンは「11日」が共通しておりますね。

本キャンペーンの趣旨は、普段やわかりやすい必要な方々への備えを啓発することにあります。災害時には水道や電気などが使えなくなることが考えられ、普段どおりの食事が難しくなることがあります。これは健常者にあっても状況は同じではありませんが、食形態に配慮が必要な場合はさらに深刻です。また、発災直後に届く支援物資は、パンやおにぎりなど供給しやすい食品が中心となりますが、高齢者や被介護者が食べやすいものばかりではないとも言われています。

本キャンペーンでは、このような状況下にあっても、普段に近い食事が摂れるような

備えが必要であることを意識していただければとして、「万が一の備えに チェックリスト」を作成し、LINE上で配布を行いました。このリストは、医療法人社団静実会 在宅訪問管理栄養士 認定心理士である伊藤清世先生にご監修をいただき、作成いたしました。

リストには、UDF やとろみ調整食品をはじめ、備えるべき食事の種類や食事の備品、口腔ケアに関することなどについても記載しています。リストの内容は一例であり、すべてのご家庭に当てはまるものではありませんが、このような資料をきっかけに、いざという時に備えにお役立ていただければという想いです。

ちなみに、本キャンペーンの景品には、いつものUDF 詰め合わせの他、防災バッグも加えたセットも用意しました。

【会議、催事等の予定】

- 10月1日（木） 第4回技術委員会
- 10月2日（金） 令和8年度診療報酬改定勉強会
- 10月6日（火） 第3回普及委員会
- 10月23日（金） 令和8年度第2回理事会
- 10月26日（月） GOKURI 講習会打ち合わせ
- 10月27日（火） 三役打ち合わせ

【UDF 商品登録状況（2,301品目・8月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	16	4	0	64	5	89
冷凍食品	339	302	794	67	0	0	1,502
常温食品	229	46	269	165	1	0	710
合 計	568	364	1,067	232	65	5	2,301

【会員の異動（8月）】

新規加入1社：(株) LEOC.
計89社（8月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡下さい。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
翔和神田ビル3階
TEL 03-5256-4804
FAX 03-5256-4805
<https://www.udf.jp/>

